



市長  
黒田実

謹んで新年のごあいさつを申し上げます。みなさまには、健やかに平成28年の新春をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

また、旧年中は、市政の運営に格別のご支援とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年、「交野市人口ビジョン」をまとめました。現在、本市の人口は約7万8千人ですが、国立社会保障・人口問題研究所によると、20年後の2035年には約6万8千人になり、高齢化率は30%を超えること推計されています。少子高齢化・人口減少という社会潮流をしつかりと受け止め、今後のまちづくりを進めていかなければなりません。

また、市長就任以降、市の魅力アップ、課題解決を一步前へ進めるべく取り組んで参りましたが、より具体的に実行していくために、昨年11月、今後の重点政策を市長戦略としてまとめました。

1つ目は「住みたい、住み続けたいまちづくり」。本年は新給食センターが完成します。教育・子育て施策を充実させ、若い世代・

子育て世代を応援します。

2つ目は「支え合う健康のまちづくり」。本市は府内でも健康寿命がトップクラスです。いつまでもいきいきと暮らしていただけるよう、健康づくりを応援していきます。

3つ目は「未来へつなぐ環境づくり」。市の素晴らしい自然を守り、自然エネルギーの導入・普及を図ります。また、創業や企業リノベーション、働く女性の応援に取り組んで参ります。

4つ目は「みんなで安心安全なまちづくり」。昨年は、全国各地で豪雨による被害や児童に関わる事件が発生しました。本市でも、通学路の防犯カメラ設置や、地域防災力強化を進めていきます。

この戦略が目ざす交野の将来ビジョンは、「ずっと」かたの「もつと」かたの「自然と人が共生し、子育てと地域の絆で元氣な交野！」です。これまで大切にしてきたものや魅力をさらに高めるために、本年も市役所一丸となって取り組んで参ります。市民のみなさまのご理解とご協力をよろしくお願ひ申し上げます。

本年がみなさまにとりまして、健康やかで幸多き一年となりますことを心よりお祈り申し上げます。新年のごあいさつとさせていただきます。

## 新年のごあいさつ



市議会議長  
友井健二

明けましておめでとうございませう。市民のみなさまには、健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年中は、みなさまのご支援とご協力により、議会運営に精励することができましたことを心からお礼申し上げます。

昨年の9月には、市議会におきまして4年に1度の改選が行われ、15人の議員が市民のみなさまの付託を受けました。そのうち6人が新人議員であり、女性議員が7人となりました。

全国の市議会における女性議員の占める割合が13・2%（26年12月末現在）であるのと比較して、当議会は約半数と、女性の社会進出が進んでおります。

また、議員の平均年齢は46才と若返り、これからも、若い人・女性の声が議会を通して市政へ届けられることと思ひます。

一方、社会に目を向けると、人口減少、少子高齢化が進み、ますます「地方創生」「地域の活性化」が大きな課題となっています。本

市においても、財政の健全化をはじめ、安心・安全なまちづくり、子育て・教育、健康・福祉といった今後の課題が数多くあります。議会の役割の1つに「行政機関への監視機能」があります。それとともに、これからは、「市民目線による政策の立案機能」が重要な役割となつてきます。特に、政策条例の提案について、より市民の目線に沿った立案を行えるよう努めて参ります。

われわれ市議会といたしましても、「交野市議会基本条例」が施行され、議会の役割と責務を改めて自覚して、議会改革を行っているところでありませう。市民に開かれた議会を目ざし、みなさまの付託に応えられるよう、さらに改革を進めて参ります。

市民の生活・福祉の向上を目的として、議会も行政と「車の両輪」のように、互いに知恵を出し合つて取り組んでいく所存でありませう。

本年も、議会に対し、市民のみなさまのさらなるご支援とご協力を賜りますよう、よろしくお願ひ申し上げます。結びに、市民のみなさまにとりまして、本年が素晴らしい、幸多き一年となりますようお祈りいたします。